

授業科目	*母性看護方法論				実務家教員担当科目	○					
単位	2	履修	必修	開講年次	2	開講時期	後期				
担当教員	古賀 玉緒、前田 幸										
授業概要	<p>教員は総合病院・クリニック・助産院などの施設における助産師経験および臨地実習の指導経験をいかして講義を行う。</p> <p>本科目においては、周産期における女性と胎児、新生児およびその家族を理解するために必要な基本的知識を取得し、母子やその家族の健康上の課題を解決するための看護を学ぶ。講義は、解説とともにDVDなどの視聴覚教材や模型を活用しながら展開する。また、周産期各期において講義の中で知識の確認のための小テストを実施する。</p> <p>以上のことについて、実務家教員として臨床での実務経験を有する教員が教授する。</p>										
授業形態	講義	授業方 法									
学生が達成すべき行動目標											
標準的 レベル	<ol style="list-style-type: none"> 1. 出生前からのリプロダクティブヘルスケアについて説明できる。 2. 正常な妊娠・分娩・産褥・新生児の形態・機能的変化について説明できる。 3. 正常な妊娠・分娩・産褥・新生児期にある対象に関する診断方法や家族を含む看護について説明できる。 4. 妊娠・分娩・産褥・新生児期におこる異常と看護について説明できる。 5. 母性看護に関心をもち学習に取り組むことができる。 										
理想的 レベル	標準的なレベルを達成したうえで、より正確な知識・根拠をふまえて理解できる。										
評価方法・評価割合											
評価方法	評価割合（数値）			備考							
試験	80%			再試験の得点に小テストの得点は含まれません。							
小テスト	20%			講義の中で小テスト（4回）を実施し知識の確認を行う。							
レポート											
発表（口頭、プレゼンテーション）											
レポート外の提出物											
その他											
カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング											
DP1	○	DP2	○	DP3	○	DP4	-	DP5	-	ナンバリン グ	NU21313J
学習課題（予習・復習）										1回の学習目安 （時間）	
<p>予習：テーマに関して教科書を読み、講義に臨む。</p> <p>復習：配布した資料、教科書の見直しを行い、重要箇所をノートまとめるか配布資料に書き込んでおく。</p>										4	
授業計画											

第1回	<p>テーマ：妊娠期における看護（1）（古賀玉緒）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・妊娠前からのリプロダクティブヘルスケアをふまえ、妊娠の生理から胎児の発育とその生理について解説する。
第2回	<p>テーマ：妊娠期における看護（2）（古賀玉緒）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・妊娠前からのリプロダクティブヘルスケアをふまえ、妊娠の生理から母体の発育とその生理について解説する。 ・妊娠期に行う検査とその目的、妊婦と胎児の健康状態の診断などについて解説する。 視聴覚教材を用いて診察技術の実際についてイメージを図る
第3回	<p>妊娠期における看護（3）（古賀玉緒）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・妊婦と家族の心理社会的変化や特徴について解説する。 ・妊婦と家族の看護について母子保健サービス、保健相談、分娩準備教育について解説する。
第4回	<p>妊娠期における看護（4）（古賀玉緒）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・妊婦と家族の看護について母子保健サービス、保健相談、分娩準備教育について解説する。 <p>妊娠期の異常と看護</p> <ul style="list-style-type: none"> ・妊娠期にみられる主な疾患に焦点をあて、病態生理をふまえた看護について解説する。
第5回	<p>妊娠期：小テスト（古賀玉緒）</p> <p>分娩期における看護（1）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分娩進行に伴う産婦の身体的、心理的变化を分娩の3要素・経過と産婦・胎児のアセスメントをふまえて解説する。①
第6回	<p>分娩期における看護（2）（古賀玉緒）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分娩進行に伴う産婦の身体的、心理的变化を分娩の3要素・経過と産婦・胎児のアセスメントをふまえて解説する。②
第7回	<p>分娩期における看護（2）（古賀玉緒）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分娩期における産婦とその家族の看護について解説する。
第8回	<ul style="list-style-type: none"> ・分娩期：小テスト ・分娩の異常と看護（古賀玉緒）
第9回	<p>産褥期における看護（1）（前田幸）</p> <p>産褥経過(身体的変化)について解説する。</p>
第10回	<p>産褥期における看護（2）（前田幸）</p> <p>褥婦経過（心理・社会的変化）について解説する。</p>
第11回	<p>産褥期における看護（3）（前田幸）</p> <p>褥婦のアセスメント、褥婦と家族の看護について説明する。</p>
第12回	<p>産褥期：小テスト</p>

	産褥期の異常と看護（前田幸） 産褥期にみられる主な疾患に焦点をあて、病態生理をふまえた看護について解説する。
第13回	新生児期における看護（1）（前田幸） 新生児の生理について解説する。
第14回	新生児期における看護（2）（前田幸） 新生児のアセスメント、看護について解説する。
第15回	新生児期：小テスト 新生児の異常と看護（前田幸） 新生児期にみられる主な疾患に焦点をあて、病態生理をふまえた看護について解説する。
テキスト	森恵美著：系統看護学講座 母性看護学各論 母性看護学[2] 医学書院 2021 上田森夫他編：病気が見えるVOL10 産科 第4版 MEDIC MEDIA 2018
参考図書・教材 ／データ ベース・ 雑誌等の 紹介	井上裕美他編：病気が見えるVOL9 婦人科・乳腺外科 第4版 MEDIC MEDIA 2018 末岡浩他：系統看護 女性生殖器 成人看護学9 医学書院統 2019 その他、適宜提示します。
課題に対するフィードバックの方法	小テストについては終了後に解説します。
学生へのメッセージ・コメント	既存の学習内容（解剖学。生理学、薬理学など）もふまえた科目ですので復習をしておいてください。 新聞などから母児に関する話題や問題を把握しておきましょう。 周産期についてかなりボリュームのある内容です。欠席の無いよう体調を整え予習復習を行い講義に臨んで下さい。不明な点は教科書を確認したり教員へ質問に来たりするなどして問題解決に取り組んでください。 講義中の携帯電話の使用は禁止します。また、私語など他者に迷惑をかける行為のないよう心がけて下さい。 講義では座席を指定しますので、不都合のある方は申し出て下さい。

